

クラス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2012年度 全統高2記述模試問題 数 学

(100分)

2013年1月実施

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

注 意 事 項

1. 問題冊子は5ページである。
2. 解答用紙は別冊になっている。〔受験届・解答用紙〕冊子表紙の注意事項を熟読すること。
3. 本冊子に脱落や印刷不鮮明の箇所及び解答用紙の汚れ等があれば、試験監督者に申し出ること。
4. ①②③は必須問題、④⑤は選択問題である。④⑤の2題中、任意の1題を選択して解答すること。
(選択パターン以外で解答した場合は、解答のすべてを無効とする場合がある。)

解答用紙	イ			ロ	
問題番号	①	②	③	④	⑤
選択パターン	●	●	●	○	
	●	●	●		○

●…必須 ○…選択

5. 試験開始の合図で「受験届・解答用紙」冊子の数学の解答用紙（2枚）を切り離し、下段の所定欄に
選択問題・氏名・在学高校名・クラス名・出席番号・受験番号（受験票の発行を受けている場合のみ）を明確に記入すること。なお、氏名には必ずフリガナも記入のこと。
6. 解答には、必ず黒色鉛筆を使用し、解答用紙の所定欄に記入すること。
7. 指定の解答欄外へは記入しないこと。採点されない場合があります。
8. 試験終了の合図で上記5.の事項を再度確認し、試験監督者の指示に従って解答用紙を提出すること。
ただし、白紙の解答用紙は提出しないこと。

1 【必須問題】（配点 50点）

- (1) a は実数の定数であり、 x の関数

$$f(x)=x^2-ax+a^2-3$$

がある。

(i) すべての実数 x に対して $f(x) \geq 0$ となるような a の値の範囲を求めよ。

(ii) ある正の数 x に対して $f(x) \leq 0$ となるような a の値の範囲を求めよ。

- (2) 赤球が4個、白球、青球、黄球、緑球がそれぞれ1個ずつ、全部で8個の球があり、これら8個の球をA, B, C, Dの4人に2個ずつ分ける。ただし、以下において4個の赤球は区別しないものとする。

(i) 赤球を2個もらう人が1人もいない分け方は何通りあるか。

(ii) 分け方は全部で何通りあるか。

2 【必須問題】（配点 50点）

関数

$$f(x)=4\cdot 3^{3x-1}-4\cdot 3^{2x}+3^{x+1}$$

がある。

- (1) $t=3^x$ とするとき、 $f(x)$ を t を用いて表せ。
- (2) $f(x)$ の最小値とそのときの x の値を求めよ。
- (3) x の方程式 $f(x)=a$ が異なる 3 個の実数解をもち、それらの積が正であるような実数 a の値の範囲を求めよ。

3 【必須問題】（配点 50点）

O を原点とする座標平面上に放物線

$$C: y = \frac{1}{4}x^2$$

があり、 C 上の点 $P(2p, p^2)$ における C の接線を l とし、 l と x 軸の交点を Q とする。
ただし、 $p > 0$ とする。

(1) l の方程式と Q の x 座標を求めよ。

(2) 3 点 O, P, Q を通る円を K とする。

(i) K の中心の座標と半径を求めよ。

(ii) K と y 軸の交点のうち O でないものを R とし、三角形 PQR の面積を S_1 とする。

また、 K の面積を S_2 とする。 p が $p > 0$ の範囲で変化するとき、 $\frac{S_1}{S_2}$ の最大値とそのときの p の値を求めよ。

4 【選択問題】（配点 50点）

数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = a_2 = 1, \quad a_{n+2} = \frac{2^{n-1}}{a_{n+1}} + a_n \quad (n=1, 2, 3, \dots)$$

により定める。

- (1) 自然数 n に対して、 $b_n = a_n a_{n+1}$ とするとき、 b_{n+1} を b_n を用いて表せ。また、 b_n を求めよ。
- (2) 自然数 m に対して、 a_{2m-1} , a_{2m} を求めよ。
- (3) 自然数 n に対して、 a_n を 3 で割った余りを r_n とする。

$$\sum_{n=1}^N r_n > 1000$$

を満たす最小の自然数 N を求めよ。

5 【選択問題】（配点 50点）

四面体 OABC があり、

$$OA=OC=AC=1, \quad OB=2,$$

$$BC=\sqrt{3}, \quad \angle AOB=90^\circ$$

である。

また、三角形 OAB を含む平面を α とし、点 C を通り α に垂直な直線と α の交点を H とする。

さらに、 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{OC}=\vec{c}$ とする。

- (1) 内積 $\vec{a}\cdot\vec{b}$, $\vec{b}\cdot\vec{c}$, $\vec{c}\cdot\vec{a}$ の値を求めよ。
- (2) \overrightarrow{OH} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。また、線分 CH の長さを求めよ。
- (3) 線分 AC を直径とする球面を S とする。 S 上の点 P について、線分 OP の長さを最大にする P を P_1 とし、最小にする P を P_2 とする。四面体 P_1P_2AB の体積を求めよ。

